

3. 作業部会の取り組み

平成21年度までの計画に示されていた各分野（各分会）の地域課題について、「現状はどうか」を確認しあいながら、「新たな気になることや困りごとはないか」「これらの課題について地域でできることはなにか」「市に支援してもらいたいこと、取り組んでもらいたいことはなにか」をグループ討議により、作業部会の意見として話し合い、方向性をとりまとめました。

作業部会の開催	平成21年7月29日 作業部会(合同で地域福祉計画の概要、進め方等の説明) 各分会に分かれて打合せ、協議2回目以降は、各分会で日程調整して自主的開催
障がい者分会	1回7月29日、2回8月24日、3回9月25日
高齢者分会	1回7月29日、2回8月18日、3回9月14日
次世代分会	1回7月29日、2回8月10日、3回8月24日、4回9月10日
健康分会	1回7月29日、2回8月13日、3回8月20日、4回9月17日

(1) 障がい者を地域で支えるための取り組み

地域課題1 [地域住民の障がい者に対する理解や協力が不足している]

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 双方の意識の違いにより、歩み寄れていない。 ▶ 障がい者同士の行事に参加するが、地域の行事には参加しづらい。 ▶ 障がい児の親の療育、親に対しての相談支援が遅れている。 ▶ 家族が障がい児・者を隠そうとする。 ▶ 障がい者に対して、いつ、何を協力すればよいのか分からない。 ▶ プライバシー保護を理由に支援者側に情報が入ってこない。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 障がい児・者とその家族が地域住民と情報交換できる場を作る。 ▶ 日頃から地域に当事者が関わる。 ▶ 幼少期から障がい児・者に関わる。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 障がいに対する知識・理解を得る。実情を把握し、協力する。 ▶ 積極的に近所(地域)と交流する。 ▶ 近所の身近な人による助け合い。 ▶ 防災訓練など地域行事に積極的に参加する。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種行事やイベント等への支援(障がい者スポーツ大会:障がい別・屋外)。 ▶ 幼児期、児童期などに障がいを学ぶ統括的なシステムづくり。 ▶ 障がい者のためのハード面の充実。 ▶ 障がい児の親が療育の場で育つ環境作り。(地域の中で暮らすことができる意識を早めに持つために)

地域課題2 【ボランティアが不足している】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボランティアがいない。 ▶ 手話講習会を開催しても、若い人が育たない、活動の場が少ない。 ▶ ボランティアがどのように障がい者に接してよいのかわからない。(特に知的障がい・精神障がい) 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 身近な人をボランティアに参加できるように呼びかける。 ▶ 講習会修了者の活動の場の確保。 ▶ どういうことがボランティアに必要なのか伝えてほしい。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボランティア活動、地域活動への参加促進。 ▶ 講習会の修了者同士でグループ活動をする。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボランティア支援センター等の支援。PR活動。ボランティアグループの紹介。 ▶ グループ活動の支援。 ▶ ボランティアを動かすコーディネーターが必要。

地域の課題3 【住まいや就労など、生活基盤について不安がある】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ グループホームが少ない。通所施設等と密着したものがほしい。 ▶ 親が亡くなった後のことが不安。 ▶ 施設やグループホームを立ち上げるのは負担が大きい。 ▶ 工賃が低い。 ▶ グループホームに入るための利用料をどう稼ぐか。 ▶ 障がいの程度にあう仕事がほしい。 ▶ 障がい者と就労先の会社との間に入り、悩みや困り事などを解決してくれる機関、人材がいない。 ▶ 視覚障がい者はジョブコーチ等も針・灸などに限られる。 ▶ 職業安定所に障がい者の求人情報を出しても、実際に来ない。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 空家等をグループホームとして活用できないか。 ▶ 一部の人の負担にならないような体制づくりや行政機関との連携、情報交換を密にする。 ▶ 地域移行の受け皿づくりが必要。自ら生活できるように働く場の確保等を障がい者計画に盛り込む。 ▶ 日頃から地域との関わりを持ち、助け合える関係作り ▶ 積極的にPRをするべき。 ▶ 公共施設での雇用の促進。 ▶ 障がい者と会社との調整やケアをする人材の養成と、障がい者専用の窓口の開設及び相談員の配置。ハローワーク、労働基準監督署の活用。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域が障がいや障がいのある人のことを理解する。 ▶ 障がい者雇用への理解。 ▶ 障がい者の社会参加を促進する地域づくり。(福祉教育も含めて) ▶ 授産品などを利用する。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ グループホーム開設のための支援。(経営のための援助。法人設立のための支援。施設の充実及び建設。) ▶ 障がいに関するサービス一覧表の作成。 ▶ 取り扱い製品・販路等の開拓、活用支援。

地域の課題4 【生活のための経済的支援やサービスを充実してほしい】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 福祉バスは県内のみなので、利用できる事業も限られる。 ▶ リラポートやきらめき館の使用料が高い。負担が大きい。 ▶ 身近な所(太陽の家、市立病院)での療育体制の充実。 ▶ 住まいが市営住宅の4階にあり、生活は室内に限られてくる。 ▶ 障がい者を支援するヘルパーは専門性が求められる、男性ヘルパーが少ない。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ コミュニティバスの増便・時間変更をしてほしい。 ▶ 既存施設に専門職種を配置し、身近に訓練等ができるとうい。(障がい者施設と併設の診療所、定期的な訪問診療日の設定) ▶ 閉じこもり等に防ぐためにも、サービスを利用するとよい。 ▶ 市営住宅は優先的に1階に入居できるとよい。 ▶ ホームヘルパー研修の中に障がい者の研修・実習も多く入れる。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボランティア活動などの福祉活動に積極的に参加して、障がい者の生活を支援していく。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 通所の交通費を免除してほしい。 ▶ 付き添い者の施設使用料も減免してほしい。 ▶ 住宅改造補助を柔軟に対応してほしい。

地域の課題5 【日常生活の中でバリアフリーが進んでいないと思うことがある】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 電動車椅子を利用していると食事に行けない。 ▶ 視覚障がい者の場合、点訳や音訳で全体の情報は入るが、福祉関係の最新情報は入ってこない。 ▶ アンケートの依頼があっても利用者はうまく答えられない。 ▶ 障がい者向けの防災訓練はないのか。災害発生時の逃げ方、近所の人をどう呼べばよいのか、準備はできているのか心配。 ▶ 道路整備が進んでいない。(車イスのタイヤが溝などにはさまる、道の凹凸が激しい等) ▶ 敦賀駅のホームを車イスで利用する場合は事前に頼まねばならないし、緊急時にも多数の利用ができない。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 民間施設のバリアフリー整備。 ▶ 画一的な伝達方法を再考し、障がいにあった伝達方法を構築してほしい。CATVの9CHの検討。 ▶ 民生委員・児童委員や地域住民が協力し、町内の障がい者の所在と障がいごとに手助け方法を把握する必要がある。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 障がい(者)に対する正しい理解を深める。 ▶ 災害時要援護者台帳を活かして声かけや見守り活動を行う。地域の災害時マニュアルを作成して周知を図る。 ▶ 日頃からの近所付き合いを通じて障がい者の実情を知る。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 行政チャンネルは手話通訳をつける。 ▶ 福祉関係の最新情報も音訳やホームページなどで公表してほしい。 ▶ 民間施設のバリアフリー化促進のための補助。障がい者に優しい店には優良店としてマークをつける。(表彰や特典など) ▶ 災害時要援護者台帳の更新・啓発。

地域の課題6 【障がい者自身も自立心を育てほしい】

<p style="text-align: center;">< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 障がいがあることで、家に閉じこもりがちになっている、意欲が低下しているのではないか。 ▶ 障がいのある子どもの自立心を引出しきれていないのではないか。 	<p style="text-align: center;">< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 外に出るためのハード・ソフトのバリアフリー。 ▶ 障がい者自身も地域社会と交流をもつ。 ▶ 同じ立場の仲間と情報交換し、前向きに進む。
<p style="text-align: center;">< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 町内の行事等に参加できる場をつくる。 	<p style="text-align: center;">< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ バリアフリー、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた整備・改善の推進。 ▶ 療育の場の充実。(3歳児健診などで関係機関の紹介など) ▶ 市の広報誌の利用(ボランティア団体、障がい者団体や行事の紹介のページを設ける)。

(2) 高齢者を地域で支える取り組み

地域課題1 [本当に介護や支援が必要な人に手が差しのべられているのだろうか]

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域で支援が必要な人が把握されていない。(民生委員・児童委員数は不足していないか、老人クラブ未加入者、集合住宅に住んでいる人などは把握しにくい) ▶ サービスの内容や利用の仕方がわからない。 ▶ 要介護者本人がサービスの介入を拒否する。 ▶ 家族がサービス利用に積極的でない。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 援助が必要な人を確認し情報の収集をする。 ▶ サービスの内容・利用方法をわかりやすくPRする。 ▶ サービスを利用することの心理的抵抗を少なくする。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 民生委員・児童委員、福祉委員への連絡と連携。 ▶ 普段からのご近所づきあい。 ▶ 老人クラブ、ボランティア等の社会活動の促進。 ▶ 各制度に対する知識を持つ。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 民生委員・児童委員、福祉委員・サービス事業者・行政相互の連携。 ▶ 民生委員・児童委員、福祉委員、家庭相談員等の充足。 ▶ 介護保険・高齢者福祉制度のPR。(RCNに専用チャンネルを作り、分かりやすく広報する) ▶ 高齢者対象にわかりやすい講習会の開催。 ▶ 一目でわかる介護マップの作成。 ▶ 相談・サービスの窓口のマップ化。

地域課題2 【介護者の負担が大きい】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 老々介護・認々介護が増えている。 ▶ 介護疲れからの虐待問題。 ▶ 介護施設への入所待機者が多い。 ▶ 経済的にサービス利用が難しい方が多い。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 近隣の助け合いや行政・事業者との関わりを増やし孤立しないようにする。 ▶ 近くで相談できる場所があるとよい。 ▶ 介護者同士が話せる場・機会があるとよい。 ▶ 低価格で利用できる施設などがほしい。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域での相互協力。 ▶ ボランティアによる手助け。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護施設サービスの整備。 ▶ 介護居宅サービスの周知。 ▶ 商店街の空き店舗等を利用し、低価格な集いの場を整備する。

地域の課題3 【高齢者の生活支援体制を充実してほしい】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 退院しても在宅へ戻れない。 ▶ 高齢者の虐待問題。 ▶ 家族による年金の使い込み。(経済的虐待) ▶ 困り事を持つ高齢者の孤立化、とじこもり。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 在宅でも生活できる体制を整える。 ▶ ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯への支援。 ▶ 近所の人気がかけられるようにする。 ▶ 各種サービスを活用する。 ▶ 民生委員・児童委員、福祉委員等による安否確認訪問。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 普段からのご近所づきあい。 ▶ ボランティア、民生委員・児童委員、施設、地域等からなる高齢者見守り隊の声掛け運動の輪を広げる。 ▶ ボランティアなどによる手助け。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 医療機関に地域連携室を設置するための助成。(設置病院 敦賀病院・国立福井病院・敦賀温泉病院) ▶ 介護保険の居宅介護サービスの周知。

地域の課題4 【認知症や寝たきり等になることが心配】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 認知症高齢者への対応の仕方がわからない。 ▶ 認知症についての学び方がわからない。 ▶ サービスの説明や助言をしても家族に拒否されると踏み込めない。 ▶ 自分は大丈夫と思っている高齢者が多い。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 認知症に対して理解・認識を深める。 ▶ 認知症のサポーターがふえる。 ▶ 認知症高齢者本人、家族のストレスを解消する。 ▶ 当事者に予防の必要性を理解してもらう。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 認知症への認識を深める。 ▶ 地域によるふれあいサロン新規参加者の掘り起こし。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 認知症・介護予防のための講習会を開催し、サポーターの数を増やす。 ▶ 家族会参加への促進等介護者を支えるための体制づくり。 ▶ ふれあいサロンの受け入れ人数の拡大や、参加条件の緩和。

地域の課題5 【交通事故などの安全面が心配】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者・認知症ドライバーの運転が危険。 ▶ 高齢者の自転車での通行、歩行が危険。 ▶ 歩道に段差のあるところが多い。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 講習会の体力テスト等で身体能力の限界を教える。 ▶ 安全な歩道の通路区分。 ▶ 段差の解消。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 免許証の返納者に対し地域内での買物代行、乗り合わせ等の助け合い。 ▶ 地域住民の高齢者に対する声掛け。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 交通安全講習会の実施。 ▶ バリアフリーの推進。 ▶ 警察との連携。

地域の課題6 【生きがいや社会参加の場・機会づくりが必要】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 退職した高齢者を活かす場所がない。 ▶ 子育て等一段落し、介護の仕事を希望する者を活かせる場所がない。 ▶ 介護施設職員の不足。 ▶ 北・南地区の高齢化率が高い。 ▶ 核家族化し、高齢者と接する機会がない。 ▶ 2世帯住宅、別世帯、食事別等、家族間のコミュニケーションが不足している。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 介護職員の充足。 ▶ 老人会の会員数を増加。 ▶ ボランティアの充足。 ▶ 世代間交流の機会を持ち、高齢者の尊厳を回復する。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボランティアをはじめとする社会活動に参加する。 ▶ 地域の中で世代間交流の場所や機会を増やす。 ▶ 行政がすべき 「まず自分たちがやろう」への転換。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ボランティア活動・コミュニティビジネスの促進。 ▶ 市民活動支援室・市ボランティアセンターでの広報。 ▶ ボランティアの実績を評価してくれる制度づくり。 ▶ 高齢化率の高い地域の空き店舗を利用し、常時開催サロンをつくる。 ▶ 敦賀短大に介護福祉学科及び通信制を設け、地域を上げて人材の養成に取り組む。

(3) 次世代育成と子育てを地域で支える取り組み

地域課題1 [職業生活と家庭生活の両立に不安や悩みがある]

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 学童保育を兄弟姉妹2人が利用すると、保護者の負担が大きく、ひとり親世帯ではさらに厳しい。 ▶ 小学校高学年になると、外にでてスポーツをする子、自分から何かに参加する子と家から出ない子など2極化している。 ▶ 病気の時の対応が大変。(病後児保育は実施している) 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 全学区に学童保育があるとよい。 ▶ 高学年も放課後集まる場所ができるとよい。 ▶ 退職した教師が各地区で放課後みてくれるとよい。 ▶ 共働き世帯のために事業所内保育施設を置く事業所が増えるとよい。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域内のふれあいを深めていく。 ▶ 地域の高齢者の見守り隊の活動促進。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育所だけでなく、学校の空き教室などの利用ができないか検討して、集まる場をつくる、学童保育を拡充する。 ▶ 学童保育の指導員の確保。 ▶ 病後児保育のPR。

地域課題2 [子どもを連れて外出するときに不安や困ることがある]

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 市立病院で乳幼児を連れて待っている時に困る。 ▶ 児童文化センターの駐車場の使い方が危ない。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 市立病院の待合室を子どもづれに配慮した改良を行う。 ▶ 正面は駐車禁止にするか、併設の市営駐車場を利用してもらうようにする。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 気になったことや危ないと感じたことなどの意見をだす。 ▶ マナーを守る。 ▶ 親子づれが利用する施設は、事業所・店舗が駐車について配慮する。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 市立病院の待合室改修。 ▶ 公共施設の駐車スペースを点検して利用しやすくする。 ▶ 民間施設等に駐車について対応を依頼してほしい。

地域の課題3 【子どもの安全が心配】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 下校時は見守り隊の活動、不審者メール配信等により、安全性が高まった。 ▶ 下校後に守ってくれる人がいない。 ▶ 「子ども110番の家」が高齢者のみの世帯だったり、どのようなところに設置しているか、見直しが必要ではないか。 ▶ 虐待について地域の関わり方がわからない。 ▶ 表にでない虐待があるのではないか。(家庭内でのこと、気づいていない) 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域の人が散歩などの時に公園等において、見守ってくれるとよい。 ▶ 交番になるべく警官がいてくれると良い。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域でのつながりを強くする。 ▶ 「子ども110番の家」の活動に協力する ▶ 親の意識をかえていく。(転入者も地域を大事にして、親から地域に入っていく) 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 虐待の通報が地域からあった場合に適切かつ迅速な対応ができるように調整してほしい。

地域の課題4 【自分以外に子どもをみてくれる人がいない】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 授業参観の時に連れて行けない。 ▶ 入院したときに、家事や育児を頼むことが難しい。 ▶ 保護者が病気の時に、保育所の送迎ができない。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 身近なところに託児所があるとよい。 ▶ 近所の人を手助けしてくれるとよい。 ▶ シルバー人材センターなどを活用するとよい。 ▶ 夫が家事・育児ができるように事業所の理解があるとよい、休業制度などが整うとよい。父親が子育てしやすい環境になるとよい。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ NPO法人やシルバー人材センター事業への協力。 ▶ ワーク・ライフ・バランスについて認識を深める。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ NPO法人やシルバー人材センターの子育て支援サービスのPRと継続して利用できるようにする。 ▶ 企業に対して父親の育児参加を呼びかける、企業側に啓発。

地域の課題5 【子育てのアドバイスが必要な人が増えている】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 生後間もない乳児の外出をスーパーなどでみかける。 ▶ コンビニなどで夜間に小さい子どもづれを見かける、大人の生活にあわさされていて、子どもの負担になっていると思う。 ▶ 親も子どもマナー違反に気がついていない、注意すると逆に怒られる。 ▶ 出来合いの惣菜や外食が多い、栄養バランスが偏っているなど食生活が心配。 ▶ 家族が別々に食事をする、孤食が増えている。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 親が色々な認識・知識を学ぶ場、知る機会があるとよい。 ▶ 親育てが必要、各種団体が働きかけていくとよい。 ▶ 妊娠期から、第一子の時から啓発していくことが必要。 ▶ 気づいた人が声をかけられる雰囲気になるとよい。 ▶ 発達障がいについて理解を深める。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 気がついた人が声をかけられる地域づくり。 ▶ 地域で親育てが大事なので、それができる地域のつながりや信頼関係を構築する。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 健康管理センター、子育て総合支援センターが協力して、マナー・食生活等に関する啓発をする、RCN等の番組をつくる。 ▶ 食育の推進。 ▶ 土・日曜日など両親が参加しやすい講座開催を検討する。 ▶ 講座参加への働きかけ。 ▶ 情報提供の方法を工夫する、広報誌を有効活用する。 ▶ こどもの育ちに大事なこと、乗用を十分に啓発する、親向けの教育・啓発(家庭教育、親業などの講座開催)。

(4) 健康づくりを地域で支援する取り組み

地域の課題1 [健康づくりに対する正しい知識の普及や啓発が必要]

< 気になること・困りごと >	< どうなると良いか >
<ul style="list-style-type: none"> ▶ セミナーやサロンの窓口が高齢者や乳幼児など分かれすぎている。 ▶ 健康づくりのための色々な資格者がいるのに、知られていない。どのような活動をしているのかわからない。健康運動指導士、健康運動実践指導者、食生活改善推進員など。 ▶ 朝食を取らない世代の増加。 ▶ 食生活の偏り。(インスタント、添加物、サプリメント、コンビニ食品、外食利用など) ▶ 子どもの睡眠時間の短縮。 ▶ 孤食が多い。 ▶ 健診を受けることへの恐怖感がある。 ▶ 健診の受診率が低い。予約制は、待ち時間が少なくて済むが、思い立った日に行けない。 ▶ 福井県民の寿命は長いが、5～8年は施設や病院で過ごしている場合が多く、健康寿命は必ずしも長くはない。 ▶ 健康寿命を阻害している要因は動脈硬化に起因するものが多い。 ▶ 運動不足。 ▶ 都会のようにカロリー表示する飲食店が少ない。 ▶ ウォーキングの整備に比べて、人との関わりが持てるグラウンドゴルフやゲートボール場の設備がない。 ▶ 定年後など責任のある立場から退くとガクッと老いてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者から乳幼児までを対象にサロンやセミナーが包括的に開催されると良い。 ▶ 既存の有資格者や人材が活用できると良い。 ▶ 食生活改善推進員を一般にも広く知ってもらい、気軽に栄養面の相談ができると良い。 ▶ 乳幼児健診で食事の重要性について母親教育できると良い。 ▶ 食事や食べ物の本当のおいしさが分かると良い。 ▶ 家族で食卓を囲む。 ▶ 健診内容や健康面の体験談を気軽に話したり、相談できると良い。 ▶ 思い立った日でも健診を受けられると良い。 ▶ 今年度の大腸がんフォーラムのように、色々な病気のことでも有名人を呼んで講演会ができると良い。それによっていろいろな病気に対する認識を高める。 ▶ 健康寿命が延びると良い。 ▶ 動脈硬化の原因として、高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、喫煙があるのでそれを改善する。 ▶ カロリー表示する飲食店が増えると良い。 ▶ 敦賀市のよさを活かした健康づくりを提言できると良い。 ▶ グラウンドゴルフやゲートボール場の整備が進むと良い。 ▶ 若いときから地域との関わりを持つ。 ▶ 定年後など時間に余裕ができたなら、地域に積極的に出かけていくと良い。

<p style="text-align: center;">< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 健康づくりのために有資格者を活用する。 ▶ 手作りの食事、季節の食べ物を食卓に並べる。 ▶ 子どもに規則正しい生活をさせる。 ▶ 食品の本来のおいしさを食卓から伝える。 ▶ 1日1食は家族そろって食事をする。 ▶ 健診を周囲に勧める。 ▶ 健診の大切さを知り、受診するように努める。 ▶ 肥満や喫煙について個人の生活を改善する。 ▶ 体を動かす。 ▶ 家庭からの健康づくり ▶ 地域のボランティアや行事に積極的に参加する。 ▶ 自分の健康を自分で守る 	<p style="text-align: center;">< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各サロン、各事業所が連携し、横のつながりを持って総括的に取り組んで欲しい。 ▶ 健康づくりに役立つ有資格者(健康運動指導士等)の人材リストの作成。市民が活用しやすいシステムを作る。 ▶ 市民が運動や食事について個人指導が聞ける場所の設置。 ▶ 乳幼児健診で母親に食事の指導をする。 ▶ 食育の推進 ▶ 健診内容や健診後の健康面の体験談が気軽に話し合える場の設置 ▶ 年に1回有名人を呼んで講演会をして欲しい。 ▶ グラウンドゴルフやゲートボール場の整備 ▶ 市民への運動の呼びかけ、家族参加の促進
--	---

地域の課題2 【ストレス・うつ病、不登校、心の問題への対応を充実してほしい】

<p style="text-align: center;">< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 不登校が増えている。相談場所が分からない。 ▶ うつやストレスを持つ人への対応が分からない。 ▶ 精神科病院への偏見はまだ根強い。 ▶ 大人の引きこもり(特に働き盛りの年代) 	<p style="text-align: center;">< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 不登校やメンタルヘルスの相談場所について、本人にも保護者にも分かりやすいと良い。 ▶ うつやストレスを持つ人への対応が分かると良い。
<p style="text-align: center;">< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 悩んでいる人やその家族にイベントや相談への参加を呼びかける。 ▶ ストレス関連の疾患、うつ、精神疾患への偏見をなくす。 	<p style="text-align: center;">< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種イベント(季節の行事やキャンプ、レクリエーション等)の企画。 ▶ 訪問カウンセラー。 ▶ ストレス関連の疾患、うつ、精神疾患への偏見をなくすための知識の普及・啓発。 ▶ メンタルヘルスの総合的な相談窓口の設置。

地域の課題3 【喫煙による健康被害が心配】

<p>< 気になること・困りごと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ タバコの害は大きくいわれているが、販売の規制はしていない。 ▶ 禁煙のPR効果が目に見えない。喫煙の害について、分かっているにもかかわらずやめられない人にPRの意味がない。 ▶ 吸っている人をやめさせるのは難しい。 ▶ 福井県の喫煙率は高い。 ▶ 未成年者の喫煙は薬物への入口にもなる。 ▶ 女性の喫煙率の上昇。 ▶ 家庭内で子どもの喫煙を容認する親もいる。 	<p>< どうなると良いか ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 敦賀で1日禁煙デーを作れると良い。 ▶ 少なくとも分煙を徹底し、吸わない人が害を受けないようになると良い。
<p>< 市民のできること ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 喫煙室の設置。 ▶ 分煙テーブルの設置。 ▶ 未成年者に喫煙を許さない家庭環境。 	<p>< 市に支援してほしいこと ></p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもの禁煙教育。 ▶ 学校での禁煙教育。 ▶ タバコの害についての周知を強化するようなPR活動・ポスターの設置。